



- 成長を続ける小名浜港！！～「小名浜港セミナーin東京」を開催～  
(福島県小名浜港利用促進協議会)
- 第18回港湾感謝祭を開催しました！  
(宮城県石巻市 建設部河川港湾課)
- 女性の視点からみなとまちづくりを考える「みなと座談会」が開催  
(北海道開発局 港湾計画課)
- 函館港大規模地震・津波総合防災訓練を実施  
(北海道開発局 空港・防災課)
- 第53回通常総会を終えて  
(日本港湾振興団体連合会 事務局)

### 3 お知らせ

- 第64回海洋教育フォーラム 令和元年度 久慈湾総合開発促進協議会講演会  
わたしたちの海 ～北三陸の海における未利用資源の探求 パート2～

\*\*\*\*\*

## 1 ポートエッセイ

— 備え —

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

\*\*\*\*\*

9月、10月と度重なる台風などの風水害により各地に甚大な被害をもたらされ、多くの方々が犠牲となりました。

亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

最近の地震や台風、水害などの自然災害は、これまで私たちが経験してきたものを遥かに凌ぐ規模で発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。

これに伴い発生する広範囲に亘る長期停電や断水に加え、交通の寸断による支援物資や日用品の供給の遅れや目途の立たない避難所生活など、被災者にとって過酷な環境を強いるものとなっております。

一方、地域経済を支えている企業活動はどのようになっているのか目を向けてみると二つのパターンが見取れます。

一つは、被災を受けた工場が稼働停止をするような直接的なもの、もう一つは工場の稼働はできるものの取引先の被災による部品、資材の調達ができないことにより稼働休止や減産を行わざるを得ない状況に陥ってしまう間接的なものです。

サプライヤーが被災を受けた場合はもとより、その製品の納入先が一時的な稼働休止や減産を行うなど、取引先や他分野に対しても、大小さまざまな影響を及ぼすこととなります。

過去にも、新潟中越沖地震で被災を受けた自動車部品メーカーが稼働休止に至ったときは、日本各社の自動車製造ラインが止まり、東日本大震災で自動車に使う電子部品メーカーが被災した時は、世界の自動車製造ラインが止まる事態となりました。

先月開催した当連合会総会で、このような企業にとって重大な事態が発生した場合に備えての取り組みを行っている「株式会社デンソー豊橋製作所」の古海所長から「南海トラフ地震を見据えた 社内での備え/地域での備え」と題して自社及び地域の「備え」の取り組みについてご講演を頂くことができました。

取り組みのきっかけは、「阪神淡路大震災」であったとのことでした。

まず、「社内での備え」の取り組みは、自社の国内10事業所の大地震による「影響」及び「被害を想定」した上で、会社の基本方針として「人命確保」「地域復旧貢献」「業務再開に向けた事業復旧目安」を確定し、この基本方針の達成に向け「初動対応強化」「重要インフラ確保対策」「高リスク品対策」を進めるなど、震災被害を極力小さくすべく日頃から対策を積み重ねていって来たとのことでした。

次に、「地域の備え」では、立地する豊橋市明海地区が埋立地を橋でつないだ島のような地形という地震に対するリスクのある立地条件を踏まえ、立地企業が連携した取り組みが必要であるとの考えから「地域から1人も死者を出さない」「情報伝達の確立」「道路を含めたインフラの強化」「個社(各企業)の防災力向上」という目標を掲げ、連携した対策を進めていること、救護所の設置、インフラ事業者との連携にも取り組んでいることをご紹介いただきました。

このたびの風水害と地震とは被災内容は異なりますが、災害に対する「備え」は常に心掛け、平時から対策に取り組んでいく必要があります。

私たちも、港湾という重要なインフラに関わるものとして、日頃からの「備え」を怠らずに、地域の経済はもとより日本の経済を支える港づくりに貢献していきたいものです。

\*:

## 2 トピック

\*:

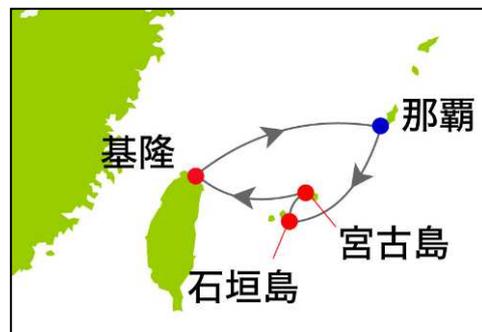
### ●沖縄初！外国船「コスタ・ネオロマンチカ」による那覇港発着クルーズツアーを実施 (沖縄総合事務局 港湾計画課)

ヨーロッパ大手のクルーズ船社「コスタクルーズ」は沖縄では初となる、外国船による那覇港発着のクルーズツアーを就航させました。那覇港を出発し、宮古島、石垣島を巡り、基隆(台湾)へ寄港した後、再び那覇港に戻るコースなど、3泊～5泊のショートクルーズツアーを、2020年4月の本格導入に先駆けて、2019年10月18日から実施しました。

このような、那覇発着クルーズが展開されることで、「フライ&クルーズ」が促進され、乗船前後の宿泊やそれに伴う食事、買い物などの消費拡大に繋がり、より一層の観光振興が図られることが期待されます。



コスタ・ネオロマンチカ(56,769GT)



コース例(那覇⇒宮古⇒石垣⇒基隆⇒那覇)

### ●那覇港国際クルーズ拠点整備事業 起工式が開催されました (沖縄総合事務局 港湾計画課)

11月10日(日)、那覇港新港ふ頭地区において22万トン級クルーズ船に対応する岸壁、泊地、ふ頭用地及び旅客施設を整備する「那覇港国際クルーズ拠点整備事業」の起工式が内閣府 沖縄総合事務局と那覇港管理組合の共催で開催されました。式典には赤羽一嘉国土交通大臣や地元選出の国会議員の他、連携船社であるMSCクルーズ社及びロイヤルカリビアンクルーズ社など多くのご来賓が出席しました。

挨拶の中で赤羽国土交通大臣は「東アジアの中心に位置する地理的優位性と豊富な観光資源を活かし、国内及び東アジア地域における有数のクルーズ船寄港地となっている那覇港において、本事業は沖縄県の掲げる『東洋のカリブ構想』実現に向けて大きな一歩であり、令和4年春の供用を目指して、しっかりと取り組んでいく」旨、述べられました。



式辞を述べる玉城康裕那覇港管理組合管理者



挨拶を述べる赤羽一嘉国土交通大臣



記念撮影

(後列:左から MSC社 区部長、RCL社ジナン・リウ アジアチエマン、伊波参議院議員、屋良衆議院議員、  
國場衆議院議員、玉城管理者、赤羽国土交通大臣、赤嶺衆議院議員、西銘衆議院議員、宮崎衆議院議員、  
河野参議院議員、原沖縄振興局長、吉住沖縄総合事務局長、前列:子どもエイサー「琉鳳古蔵」)

●大分港で『みなとのフードフェスタ2019』が開催されました！

(九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所)

令和元年9月16日(月)に、みなとオアシスかんたん港園(大分市)で『みなとのフードフェスタ2019』が開催されました。大分港発祥の地である西大分港(現在のかんたん港園)は、戦国大名・大友宗麟による南蛮交易が盛んに行われていたことから、ゆかりの深い『ポルトガルワイン』を集めた“WINE bar”をはじめ、世界10カ国の家庭料理が楽しめる“World Kitchen”など、歴史と文化を感じながら海辺に親しむことができるイベントが開催され、延べ約8,000人が来場し、多くの方々で賑わいました。

大分市の海の玄関口として、かんたん港園の魅力的な「みなとまちづくり」が周知でき、また、地域のふれあいの場を提供できました。



会場の様子(ワールドキッチン)



会場の様子(PEAKL ライブ)

●「津波防災の日」特別講演会の開催～我が国沿岸域の国土強靱化に向けた“二段防災”～

(四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所)

四国地方整備局主催の『「津波防災の日」特別講演会～我が国沿岸域の国土強靱化に向けた“二段防災”～』が10月29日(火)、高知市の高新文化ホールで開催され、産学官の幅広い技術者を中心に、約140名が参加した。

講演会は、四国地方整備局 小林稔局長の挨拶で開会し、令和元年8月22日に第12回海洋立国推進功労者表彰を受賞された高知工科大学 磯部雅彦学長より「我が国沿岸域の国土強靱化に向けた“二段防災”」と題してご講演頂いた。

参加者らは、熱心に聞き入り、東日本大震災を契機とする南海トラフ地震津波及び近年課題となっている台風による高潮に対する沿岸域の防災対策への理解を深めた。



小林局長の挨拶



磯部学長のご講演



「津波防災の日」特別講演会の様子

●「みなとオアシス下蒲刈」が新たに登録されました！

(中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所)

令和元年10月20日(日)に「みなとオアシス下蒲刈」が全国で133箇所目(広島県で10箇所目)となるみなとオアシスに登録されました。

下蒲刈の代表的な文化イベントである「朝鮮通信使再現行列」に併せて登録証交付式が開催され、磯野大臣官房審議官から新原呉市長へ「登録証」が交付されました。

今回みなとオアシスとして登録された下蒲刈は、広島県呉市東部の島しょ部に位置し、古くから瀬戸内海の交流の要衝として栄え、朝鮮通信使や参勤交代時の西国大名の寄港地として重要な役割を担っていました。

同日に開催された「朝鮮通信使再現行列」は、江戸時代に朝鮮通信使を盛大におもてなしした際の行列を再

現したイベントで、島内外や韓国からチマ・チョゴリなどの鮮やかな衣装を着た約280人が行列やステージイベントで盛り上げました。

交付式は「朝鮮通信使再現行列」の終着点である下蒲刈中学校のメインステージで行われ、再現行列参加者や地元住民らに見守られながら「みなとオアシス下蒲刈」としてスタートを切りました。今回のみなとオアシス登録をきっかけに今後ますますの発展が期待されます。



位置図



登録証交付



記念撮影



朝鮮通信使再現行列

#### ●和歌山下津港と堺泉北港で「2019大規模津波防災総合訓練」を実施しました

(近畿地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課、近畿圏臨海防災センター、和歌山港湾事務所)

世界津波の日(11月5日)を前に、11月2日(土)に和歌山下津港西浜地区(和歌山市)をメイン会場として、堺泉北港堺2区の基幹的広域防災拠点(堺市)やすさみ防災基地(すさみ町)、美浜町の松原地区高台の4会場をサテライト会場に津波防災総合訓練を実施しました。

本訓練は、平成16年12月に発生したスマトラ島沖地震による津波災害を契機に、平成17年度から国土交通省の地方整備局が持ちまわりにより自治体等と協働して実施しているもので、今年で14回目の開催となります。

訓練では、地震・津波による被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及啓発を目的に、南海トラフ巨大地震の発生を想定して、陸・海・空に渡り本番さながらに行いました。

国土交通省、和歌山県・和歌山市、大阪府・堺市と防災関係機関や電力・通信・運輸などの企業、あわせて134機関のおよそ4500人(うち、一般約1500人)が、情報伝達、救難・救助、物資搬送、道路・航路啓開、ライフライン復旧、津波避難などの各訓練を実施し連携を確認しました。

展示エリアでは防災に対する知識の普及・啓発を目的に、展示・体験コーナーや炊事車による炊き出し等を行いました。

会場には、子供連れの家族など市民も多く訪れ、秋晴れのもと、災害対策資機材の動きや展示ブースを興味深く見学していました。

訓練の様子をYouTubeで配信しています。

【メイン会場】 <https://www.youtube.com/watch?v=sR5-j3lgc8M>

【サテライト会場】 <https://www.youtube.com/watch?v=i44nSs1NL1g>



訓練開会式の様子(メイン会場)



起重機船による災害対策用機械の運搬  
(メイン会場)



在大阪ベトナム社会主義共和国領事館並びに堺ホテル協会による外国人旅行者を想定した津波避難訓練 (サテライト会場)



ヘリによる波除堤からの市民救出訓練  
(サテライト会場)

### ●「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会in富山

(富山県 観光・交通振興局 観光振興室 美しい富山湾活用・保全課)

今年10月、「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会が日本で初めて富山県で開催されました。「未来への展望～沿岸域の持続可能な発展のための環境保全～」をテーマに、15の国と地域から過去最多の128名が参加しました。

総会では、富山湾の素晴らしい眺望、自然景観、歴史的・文化的な観光資源や富山湾の新鮮で美味しい海の幸など、本県の多彩な魅力をアピールするとともに、全国に先駆けた環境施策を進めてきた環境先端県としての取り組みや富山湾の魅力を活かした観光振興の取り組みを世界へ発信する絶好の機会となりました。

また、今回新たに取り入れられたワールドカフェでは湾クラブの今後のビジョンについて熱心な議論が行われ、

その成果として、湾クラブでは初の宣言となる「富山宣言」が採択されました。

県では、総会の開催を契機として、富山湾と本県の魅力を一層磨き上げ、世界に発信していくため、官民連携による取組みを推進し、富山湾の国際的な認知度とブランド価値の向上を図り、観光振興・地域活性化につながるよう取組を進めてまいります。



記念写真



地元小学生によるドラえもんみこし披露

●「第12回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in佐渡」が開催されました

(北陸地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

新潟県佐渡市において、10月19日(土)、20日(日)にかけて「第12回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in佐渡」が「みなとオアシス佐渡両津」の「おんでこドーム」をメイン会場として開催されました。当日は全国各地のみなとオアシスより地元の水産物を活かしたラーメン、丼、焼きそばなどSea級グルメ18品(内、オープン参加2品)が出品されました。

大会初日はあいにくの雨となりましたが、2日目は天候にも恵まれ2日間で約1万5千人の方が来場し、様々なグルメを堪能されていました。特に2日目は行列が出来る店舗が多数あり、完売も続出するなど大変な盛況ぶりでした。来場者による投票の結果、今年は地元「みなとオアシス佐渡両津」の「ブリ玉丼」が見事グランプリに輝きましたが、どのグルメも好評だったと思います。

グルメイベントの他にもステージイベントとして、鬼太鼓等の地元佐渡市の伝統芸能の披露や、別会場の「あいぽーと佐渡」や「両津港佐渡汽船ターミナル」では船舶一般公開、花火大会など様々な催し物も実施され、大いに盛り上がった大会となりました。



行列に並ぶ来場者



メイン会場のおんでこドーム

●海にいいこと、やさしいこと、はじめよう！～「東京湾大感謝祭2019」を開催しました～

(関東地方整備局 港湾空港部)

10月26日(土)、27日(日)の2日間、横浜赤レンガ倉庫広場や象の鼻パークなどの会場で「東京湾大感謝祭2019」を開催しました。

「東京湾大感謝祭」は、東京湾再生官民連携フォーラムのプロジェクト活動のひとつとして、都市に住む市民や企業、団体と国や自治体がともに、海の再生を考え、行動するきっかけを提供する場として、平成25年より、例年10月に開催しております。

26日(土)、27日(日)の正午には、汽笛を一斉に鳴らし、海への感謝と安全の願いを港に泊まる船とともに表す一斉汽笛が行われ、多くの方々が笛などの鳴り物を持って参加されました。

横浜赤レンガ倉庫広場会場のイベントステージでは、26日(土)にオープニングセレモニーが行われ、門 博文 国土交通大臣政務官をはじめ、秋元 司 衆議院議員、島村 大 参議院議員、朝日 健太郎 参議院議員、平原 敏英 横浜市副市長や多くの港湾関係者の方々にご参加いただきました。また、オープニングセレモニーでは、ふっかちゃんやチーバくんなどのゆるキャラも登場し、大変盛り上がりしました。



26日(土)正午の一斉汽笛の様子



26日(土)オープニングセレモニーでの記念撮影

各会場では、江戸前の恵みをふんだんに使用したキッチンカー、全国の自治体から選りすぐりの物産などを紹介するブースやタレントの哀川翔さんや日本テレビアナウンサーの榎太一さんらが出演するトークショーなどのイベントが行われた他、今年も、横浜港のガントリークレーンを間近に見ることができる「横浜クルーズ & 本牧ガントリークレーン見学クルーズ」や普段は立ち入ることのできない第二海堡に上陸できる「第二海堡モニターツアー」も開催されました。



会場(赤レンガ倉庫広場)の様子

関東地方整備局では、横浜レンガ倉庫広場の会場内にブースを設営し、当局の事業を紹介するパネルや清掃兼油回収船「べいくりん」の模型展示、「べいくりん」によるデモンストレーションを行いました。



関東地方整備局ブースの様子



デモンストレーションを行った「べいくりん」

- 横浜港新港地区に新しい客船ターミナルが完成！  
～横浜ハンマーヘッドが完成しました～

(関東地方整備局 港湾空港部)

10月25日(金)、横浜市などが整備を進めていた横浜港新港地区の新しい客船ターミナル“横浜ハンマーヘッド”が完成し、竣工式典が行われました。

“横浜ハンマーヘッド”は、地上5階建ての日本初の「ホテルと商業施設が一体となった客船ターミナル」で、1階～2階は「食」をテーマとした体験・体感型の商業施設“ハンマーヘッド SHOP & RESTAURANT”、3階～5階はホテル“インターコンチネンタル横浜 Pier8”となっております。



横浜ハンマーヘッド外観

25日(金)の竣工式典には、門 博文 国土交通大臣政務官や横浜港振興協会 藤木 幸夫 会長など多くの来賓の方が出席されました。



事業者を代表し、挨拶を述べる  
岡田代表取締役社長



祝辞を述べる門国土交通大臣政務官

11月4日(月)には、ダイヤモンド・プリンセスが第1船として入港し、乗船客や観船に訪れた方等で大変賑わいました。



横浜ハンマーヘッドに入港したダイヤモンド・プリンセス

●成長を続ける小名浜港！！ ～「小名浜港セミナーin東京」を開催～

(福島県小名浜港利用促進協議会)

10月28日(月)、都内のホテルにおいて、福島県小名浜港利用促進協議会主催の「小名浜港セミナーin東京」を開催しました。

このセミナーは、東日本地域における物流・エネルギー拠点としてさらなる港勢拡大を目指す小名浜港の取組みや利用のメリットなどについて紹介するため毎年開催しているもので、今年は首都圏の荷主企業や物流関係企業などから200名以上の方に御参加いただき、大盛況となりました。

セミナーでは、はじめに大曲一行副会長(小名浜海陸運送株式会社社長)が「小名浜港の継続利用・新規利用をご検討いただきたい」と主催者挨拶を行い、続いて井出孝利福島県副知事から挨拶がありました。

講演では、港湾管理者の福島県からコンテナヤードの拡張工事など小名浜港の最新情報を説明し、また小名浜港利用企業の生の声として、中部エコテック株式会社様から御講演をいただきました。

また、当協議会からは、渋滞の無いスムーズなコンテナ搬出入など小名浜港の利用メリットについて説明を行い、御参加のみなさまは関心を持って聴講されていました。



満席となった会場



挨拶する大曲副会長

●第18回港湾感謝祭を開催しました！

(宮城県石巻市 建設部河川港湾課)

令和元年9月21日、石巻港大手ふ頭において、客船「ばしふいっくびいなす」の寄港に合わせ、第18回港湾感謝祭を開催しました。客船入港時には、女川潮騒太鼓轟会による演奏と石巻高校書道部が書道パフォーマンスを披露し、乗船客を歓迎しました。

岸壁上には石巻地域、大崎市及び松島町の観光物産ブースや石巻港立地企業、官公署がPRブースを設置し、自社製品の販売や業務紹介などを行ったほか、会場中央に設置したステージでは、麻薬探知犬によるデモンストラーションや石巻港に関するクイズ大会が会場を盛り上げました。

また、海上では東北地方整備局が所有する港湾業務艇「ひより」による海上見学会を実施し、多くの親子に参加いただきました。

夜9時の「ばしふいっくびいなす」出港時には、来場者とともにペンライトでお見送りを行い、最後は打ち上げ花火でフィナーレを飾りました。

港の役割や重要性を広くPRするとともに港を活用した地域の活性化と交流人口の拡大を図るため、来年度

以降も継続して開催してまいります。



女川潮騒太鼓轟会による演奏

官公署PRブース

●女性の視点からみなとまちづくりを考える「みなと座談会」が開催

(北海道開発局 港湾計画課)

11月6日～7日の2日間に渡り、NPO法人北海道みなとの文化振興機構主催の第16回「みなと座談会」が北海道苫小牧市で開催されました。

この座談会は、みなとを核としたまちづくりを女性の視点から考えて全道各地で活躍されている「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」の方々が参加し、各みなとでのまちおこし活動を報告し合い、今後の活動の参考にしていくことを目的に開催されています。

1日目は、苫小牧港管理組合の道脇施設部長から「北海道の未来を担う苫小牧港について」と題して、道内の港湾取扱貨物量の半分を占める苫小牧港が北日本で最大の国際貿易港となった経緯、担うべき役割について講演されました。

その後、「わくわくするみなとまちづくり」をテーマとした座談会では、まちづくり活動に関する様々な意見や現場での工夫、担い手不足等の課題など、みなとを「現場」に活躍されている方々ならではの大変貴重な意見交換が行われました。

2日目は、港湾業務艇「はやぶさ」で会場から苫小牧港西港港内を見学し、昼食会では苫小牧漁業協同組合女性部から漁獲量日本一を誇るホッキガイを中心とした海の幸が振る舞われました。



座談会の様子



昼食会の様子



ホッキガイを中心とした昼食メニュー

●函館港大規模地震・津波総合防災訓練を実施

(北海道開発局 空港・防災課)

10月27日(日)、函館港港町ふ頭ー14m岸壁において、北海道開発局と港湾管理者である函館市と共催で、函館港で初の大規模地震・津波総合防災訓練を実施しました。

訓練には20の機関・団体から約120名の参加者と第一管区海上保安本部函館航空基地のヘリコプター「くまたか」、函館海上保安部の巡視船「すずらん」、海上自衛隊の護衛艦「ありあけ」、港湾業務艇「みずなぎ」やクレーン付台船「第11 銀世号」、さらに、自衛隊、警察、消防の各種車両も加わり、三陸沖北部を震源とする地震と、これに伴う津波来襲を想定した臨場感ある訓練が行われました。

北海道開発局と各港湾管理者では、災害時の港湾活用による対応力強化のため、関係機関の役割や連携を確認する訓練を今後も続けてまいります。



函館市工藤市長による開会挨拶



漂流者捜索救助訓練



航路啓開訓練



緊急支援物資輸送訓練

●第53回通常総会を終えて

(日本港湾振興団体連合会 事務局)

本振興団体連合会の第53回通常総会を、10月2日愛知県の南東部に位置する豊橋市で開催しました。愛知県と豊橋市のご配慮で、大変に有意義かつ盛り上がった総会でした。開催・運営にご尽力いただいた、佐原光一豊橋市長を始めとする関係者の皆様に感謝いたします。

今回の総会は、2年に一度の役員改選時期に当たり、4期8年当連合会の会長として活動を牽引していただいた篠田昭会長が退任され、新会長には、中原八一新潟市長が就任されました。

また、記念講演では、愛知大学地域政策学部教授の戸田 敏行氏より「東三河港地域形成と三河港～広域経済団体の地域計画提案から～」と題して、デンソー豊橋製作所・豊橋東製作所所長の古海 盛昭氏より「南海トラフ震災を見据えた社内での備え／地域での備え」と題して、御講演を頂きました。

総会に続く交流会は、地元選出の国会議員の方にも多数ご出席いただき、佐原豊橋市長の乾杯のご発声が始まりました。会の後半には地元豊橋市で40年以上活動しているアマチュア落語家集団「豊橋落語天狗連」の「小呂比家捨挫さん」と「弾家うさぎさん」による太神楽がご披露されるなど、賑やかな会となりました。



総会の全景



篠田会長の退任挨拶



中原新会長の就任挨拶



戸田教授の講演



古海所長の講演



佐原市長の乾杯のご発声



「小呂比家捻挫さん」と「弾家うさぎさん」による太神祭

\*:\*\*

3 お知らせ

\*:\*\*~

◇イベント名:第64回海洋教育フォーラム

令和元年度 久慈湾総合開発促進協議会講演会

わたしたちの海 ～北三陸の海における未利用資源の探求 パート2～

【開催日時】令和元年12月19日(木)

【場 所】久慈市文化会館アンバーホール 小ホール(岩手県久慈市川崎町17番1号)

【概 要】

日本船舶海洋工学会では、多くの方々に海への関心を持っていただくため、全国各地で海洋教育フォーラムを開催しています。今回は久慈市において「北三陸の海における未利用資源の探求」をテーマに開催しますので、皆様のご来場をお待ちしております。

【問合せ先】久慈市企業立地港湾課 宮本

電話番号:0194-52-2369

アドレス:[sangyou@city.kuji.iwate.jp](mailto:sangyou@city.kuji.iwate.jp)



※平成30年11月22日(木)に久慈市で開催された海洋教育フォーラムの様子  
左:パネルディスカッション、右:地元高校生による発表

\*:\*:\*: 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先 :\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL:03-5776-0630

FAX:03-5776-0631

e-mail:[bcf06323@nifty.com](mailto:bcf06323@nifty.com)

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*~